

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
理科	理科	2 東京書籍

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 理科の学び方・調べ方が巻頭、巻末に具体的にまとめられている。また、単元の中に「のぼそう！理科の力」が位置付けられており、各学年の重点場面が明確になっている。単元の導入と単元末には、同じ問いに対する考える場が設けられており、学びを通して自分の成長を実感することで、学びに向かう力・人間性の涵養に十分つながるようになっている。 「こんなところにも！理科の世界たんけん部」には、学習した内容がより専門的に掲載されており、内容量も多く、より理科の学習と日常生活とがつながる内容になっている。また、キャリア教育や伝統文化、STEAM 教育、SDGs の内容が学習内容と関連付けて考えるコラムが多くあり、深い学びへのつながりが十分である。 「問題をつかもう」から「問題」につながっており、追究の流れが明確になっている。また、考察の場面では、他社より位置づけは少ないが、学年に応じて身に付けることや考える視点、対話の流れの例が図や吹き出しで示されており、児童が議論する際、とても参考になる。また、まとめがとても端的で、分かりやすい。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第5学年「流れる水のはたらき」の学習では、岐阜県の長良川の「山の中」「平地へ流れ出たあたり」「平地」の川の様子が航空写真と共に見開きで大きく扱われている。第6学年「私の研究」では、根尾谷地震断層観察館・体験館が紹介されている。 全学年でプログラミング教育があり、プログラミングを体験できるソフトが用意されている。また、各学年の巻末には、学年で学習した内容のプログラミングが例示され、暮らしの中のプログラミングが紹介されている。二次元コードが多く、ICT を活用できるようになっている。 どの学年もキャラクターや写真に外国人や眼鏡、車いすの児童が掲載されており、多様な児童が協力して学ぶことができるように男女多文化共生や特別支援教育への配慮が十分されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> A4 サイズ(縦長)で厚み、重さも適切であり、文字サイズや太さ、余白が大きく、読みやすく、豊富な情報量が確保されている。 美しい写真、図版が数多く用いられており、実験手順が見やすい色調で示されている。問題とまとめの項目文字の背景は緑色、実験や結果の項目文字の背景はオレンジ色に統一され、見やすく統一されているなど、多岐にわたってユニバーサルデザインに大変配慮されている。 巻末資料には、コンピューターや施設の活用法、実験器具の使い方や注意事項などが大きな図版や写真で分かりやすく説明されている。使用上の便宜によく配慮されており、大変活用しやすい構成になっている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で付けたい問題解決の力が明確に示されており、主体的に学べるように、問題解決の手順だけでなく、日常生活やキャリア教育につながる資料が位置付けられている。また、自分の学びの成長を実感できるような構成になっており、非常に高い学習効果が期待できる。 ふるさと岐阜に関する資料が教材として位置付けられており、身近なものとして扱われている。理科の学習内容と関連付けたプログラミング教育を意図した内容が豊富にあり、岐阜県の教育振興基本計画に沿った、非常に魅力的な内容になっている。 美しい写真、図版が数多く、文字フォントや色調など、ユニバーサルデザインに大変配慮されているとともに、項目文字の整理や段組みの活用など読みやすい工夫が非常に効果的になされている。

様式 2

教 科
理科

種 目
理科

発 行 者
4 大日本図書

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力の育成に関わっては、導入時と比較した単元末の振り返りができるように「振り返ろう」が位置付けられている。また、実験道具の使い方が巻末にわかりやすくまとめてある。 ・「学んだことを生かそう」や「理科のたまたまばこ」という項目設定が適切に位置付けられ、日常生活の関わりを取り上げ、発展的に考えることができるようにしている。 ・主体的・対話的で深い学びを生み出すために、考察の場面では、児童が班で話し合う絵やふきだしを用いた項目を位置付けている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6年「土地のつくりと変化」の学習では、噴火する御嶽山の写真が取り上げられている。 ・全学年でプログラミング教育に関する情報が位置付けられている。また、二次元コードが十分に位置付けられているなど、ICTの活用に関わる情報が豊富である。 ・車椅子や男女、人種など、多様な人物の写真を用いており、特別支援教育や多文化共生への配慮が適切である。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版で大きく、文字サイズや余白が大きくでき、読みやすい。但し、重量感は否めない。 ・実験・観察ページの背景色をクリーム色で統一したり、実験手順を統一性のある文字、着目しやすい大ききで示したりしている。また、問題の項目文字の背景は緑色、予想から結果まではオレンジ色、考察・まとめは青色とするなど、項目をとらえやすくしている。一方、被写体が背景色と似通っている資料もある。 ・巻末資料では、写真、動画、図、表、グラフなどを使った記録と整理の仕方についての説明があり、理科の学び方を身に付けられるよう配慮されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元学習を通しての学びの変容を振り返ったり、日常生活との関わりで発展的に考えたりすることができる項目が位置付けられている。 ・多様な人物写真やイラストが使われているなど、特別支援教育や多文化共生への配慮が適切である。また、二次元コードが十分に位置付けられているなど、ICTの活用に関わる情報が豊富である。 ・文字や色調の工夫により、内容を捉えやすくしている。また、教科書サイズが大きくて見やすい。但し、重量感は否めない。

様式 2

教 科
理科

種 目
理科

発 行 者
1 1 学校図書

調 査 項 目	意 見 書
1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察については、手順を示す文と、視点や配慮、注意などを分け、流れがわかりやすいように表現されている。また、図やQRコンテンツもあり、児童が自ら活動できるように配慮されている。理科の見方・考え方については、巻頭の資料や本文中に具体的な表現やキャラクターの発言で示され、児童が活用できるように配慮されている。「ふりかえろう」で学習内容の定着を確かめ、「できるようになった」で資質・能力の変容を確かめることで、自己の成長を実感できるように配慮されている。 ・算数で学ぶグラフや単位、社会科で学ぶ方位を取り上げるなど他教科との関連に配慮されている。「もっとしりたい」では学習内容と日常生活や社会との関連が感じられるよう配慮されている。 ・問題解決の過程において、考察の場面が適切に位置付けられ、考える視点も明記されている。さらに、考えたことや学んだことを仲間に説明することで、児童が考えを深められるようよく配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「地震による大地の変化」で、濃尾地震が紹介され、根尾谷断層、断層観察館の写真が掲載されている。 ・実験や調べ学習で、二次元コードや一人一台端末を使った活動例が示されており、ICTを活用できるよう配慮されている。学習内容や生活場面と結びつけて、フローチャートを作ったり、プログラミングを体験したりする活動が掲載されている。また、プログラミングを体験できるソフトが用意されている。 ・仲間と活動する写真やイラストは男女バランスよく掲載されており、協力しながら学びを高め合えるように配慮されている。
3 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版で横方向が広くとってあり見やすいが、重量感がある。厚みは適当である。 ・「予想」や「結果」などの項目の背景色を青色に統一し、特に「問題」と「わかったこと」は大きく○囲いで強調して見やすくしてある。 ・巻頭にその学年で育成を目指す資質・能力を明示し、巻末でその観点に基づいて自己の成長を振り返ることができるようによく配慮されている。また、学習の進め方、実験器具の使い方についても細かなステップに分解し、確かめながら進められるようよく配慮されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の見方・考え方を使いながら問題を解決する過程が大切にされており、育成したい資質・能力を「理科モンスター」として示し、単元の中で児童がそれを活用しながら学習を進められるように配慮されている。 ・二次元コードや一人一台端末を使った活動例、プログラミングの体験が記載されており、ICTを活用できるよう配慮されている。 ・巻頭や巻末は学習の進め方や実験器具の使い方が細かなステップで示されているだけでなく、見方・考え方や資質・能力についてもキャラクターを使って分かりやすく表現されており、主体的な学習につながるよう配慮されている。

様式 2

教科
理科

種目
理科

発行者
17 教育出版

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・話形を紹介することにより、表現力を高める効果があると同時に、その話形を使うことで「理科の見方・考え方」が鍛えられるようになっている。 ・単元末の「資料」には、学習内容と関連した身の回りの事象を紹介し、日常生活との関わりが感じられ、学びを深めることができるようになっている。 ・問題解決の力の育成に向けて、予想と比較して考察する学習過程が意図的・継続的に適切に位置付けられている。また、考察に際しては、話し合いの場面設定が適切にされ、コミュニケーション能力の育成を重視した展開となっている。理科の見方や考え方が「見方のカギ」「考え方のカギ」として示して、深い学びにつなごうとしている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域の自然や施設を十分に取り上げている。5年 P.108 の長良川や P.124 の川岸のブロックの図版、6年 P.128 濃尾地震の図版など岐阜県に関わるものが多く紹介しており、地域環境に目を向けた学習へと広げやすい。 ・6年生でプログラミング教育が位置付けられていて、身近なものに関連付けたプログラミング教材が掲載されている。 ・児童が様々な意見を出して話し合う場面があり、児童が男女協働して学ぶことができるように十分に配慮してある。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A4変形版で横方向が広く見やすい。厚みは適当である。 ・図版が多く用いられ、文字の大きさや、重要語句の色彩強調、ユニバーサルデザイン書体の使用を行い、配慮が見られる。 ・巻頭資料では、前学年の学習内容を記載したり話し合いの場面での話形や学習の進め方が明記されており、学び合いが活発になるよう配慮されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容ごとに、男女共同参画による問題解決に向けた対話的な記述が示されており、見通しをもって学習を進め、理科の見方・考え方を育むことができるように十分に配慮されている。 ・問題解決の場面後には、日常と関連のある事象や資料が学習内容ごとに掲載され、学びと生活が結び付けられるような内容となっている。 ・学年に応じて、復習できる内容や図版、文字の大きさ等、配慮されている。

様式 2

教 科
理科

種 目
理科

発 行 者
6 1 啓林館

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・「理科の見方・考え方」については、学習内容ごとに児童の発言として緑でマーキングすることで分かりやすく記述されている。学習した内容が深められるように、単元末に「まとめノート」として分かりやすくまとめられている。実験道具の扱いは巻末ではなく、扱う場面で記述されているが、単元後に振り返る場合に探す手間となる。 ・多くの教科や日常生活との関わりを「くらしとリンク」や「ウィズアース」として十分にまとめられている。 ・考察の場面では、考えの手がかりとなる視点を児童の会話の様子として示されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第6学年の「ウィズアース」で自然災害を詳しく取り上げている。また、岐阜県に関わる取り扱いが多いため、生活に十分つなげることができる。 ・一人一台端末活用場面が多く、動画やWebサイト、フラッシュカードなどQRコンテンツ数が多い。また、全学年でプログラミング教育があり、第6学年では、プログラミングを体験できるソフトが位置づけられており、十分に活用できる。 ・第3学年「音のせいしつ」、第6学年「てこのはたらき」の単位において、外国人の児童と日本人の児童と一緒に活動している写真が掲載され、多文化共生に十分配慮している。また車いすを使用している児童と一緒に活動している様子が掲載されており、障がい児童への理解を推進している。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版で横方向が広いので見やすいが、やや重量感がある。厚さは適当である。 ・ユニバーサルデザイン書体を使用されており、難しい漢字にはふりがながあるため、読みやすい。また、重要語句は太字で、見方・考え方が緑色で強調され、背景の色も項目ごとに統一されているため、学習の流れが大変捉えやすい。 ・巻頭資料ではタブレットの様々な場面での使用例があり、授業でICTを効果的に活用できるよう配慮されている。巻末資料では、ワクビットがあり、チャレンジ問題ができるようになっている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ウィズアース」や「くらしとリンク」では、日常生活との関わりや防災教育、キャリア教育、SDGsに関わる資料が掲載され、学習内容をより深めることができるよう多様で魅力的な題材を扱っている。 ・一人一台端末を活用する場面が多く、巻末に「ワクビット」でチャレンジ問題に取り組むことができるなどICTを活用しながら学ぶことができるよう配慮している。 ・ユニバーサルデザイン書体の使用、重要語句の太字、項目ごとの色分け等読みやすさに非常に配慮されている。

様式 2

教 科
生 活

種 目
生 活

発 行 者
2 東京書籍

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「活動便利手帳」で、健康や安全に暮らすために気を付けることが示されている。ページ右上の約束には活動時に気を付けるポイントが視覚的に示されている。キャラクター「まなびい」によって児童に着目させたい見方が示され、登場する子供たちがそれぞれ比べて感じたりしたことを吹き出しで書かれている。 ・スタートカリキュラムが13ページある。教室、友達、学校と、関わる人と場所を徐々に広げていく構成とし、児童が安心して学校生活を送ることができるよう配慮されている。上巻の学びが下巻で生かされ深まるような場面も掲載されている。 ・交流活動については、初めは話すことから始まり、タブレットの活用に発展し、さらにはグループ交流をしていくなど段階を踏んで紹介されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・下巻の春夏秋冬のくらしコーナーで祭りや風習等が紹介され、地域の伝統文化や自然に目を向けるきっかけとなっている。町探検の学習では、一度訪問した所に再度電話や訪問する活動や、すてきを新聞などにして掲示してもらう活動を通して、地域との関わりを深める活動を示している。 ・観察の記録や家での活動をタブレットで撮影するなど、学習を効果的に進めるためのICTの活用例が載っている。2次元コードでは、校庭や公園の自然の様子、おもちゃの作り方などを写真や動画で見ることができ、児童の興味を引くものとなっている。 ・仲間と関わるためのゲームを動画で紹介したり、図書館を様々な人が利用する様子を絵で示したりするなど、多様な学びを支援する教育の充実が図られている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判、上巻128ページ、下巻120ページで適度である。 ・全ての児童に見やすいようにUDフォントを使用し、写真や図版等を多く活用して見やすい。 ・巻末の「活動便利手帳」が充実しており、安全、健康、仲間づくり、道具の使い方、乗り物の乗り方、インタビューの仕方などがある。上巻には、季節ごとに実物大の生き物図鑑も載せられている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元扉、導入、学びのプロセス、深い学び、振り返り・表現で単元が構成されており、生活科の学びが見えやすく活用しやすい。育成を目指す資質・能力が本文とマークで明示されており、紙面の下側ではイラストを用いて、児童が見方や考え方を生かしている姿や気付きの質が高まる姿が示されている。 ・巻末資料や2次元コードが充実しており、児童が主体的に学びを深めたり、教師が指導を工夫したりすることができる。

様式 2

教 科
生 活

種 目
生 活

発 行 者
4 大日本図書

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「学習道具箱」で安全や健康のページがある。児童が自分の学びや変容を自覚できるように、自分の考えを書く欄を設けたり、自分発見カードの記入や自分発表会を位置付けたりしている。 ・スタートカリキュラムが10ページあり、学校生活への適応に配慮されている。ところどころに国語や道徳などマークが入っており、他教科への接続が意識されている。 ・気付きの質を高める工夫として、体験活動と表現活動が繰り返される構成にし、登場人物のセリフで気付きの質を高めるヒントを示している。表現方法は、観察日記、ビンゴカード、付箋を貼る、収穫の数を○でつけグラフにする、作文等が使われている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻が春夏秋冬に区切られ、各地の行事やおやつが紹介されており、児童が伝統文化に目を向けるきっかけとなっている。町探検のまとめとして、地域の方の良さやすてきを紹介する会が示されている。その会に地域の方を招くことで地域との関わりを深める活動を示している。 ・学校探検や町探検では、タブレットで写真を撮ったり写真を見せながら話したりする活動が示されている。生き物の成長を見るために記録として写真を撮るなど低学年でも活用しやすい例である。2次元コードでは、植物を育てる時のポイント動画があり、児童の興味を引き付けたり視覚的に支援したりすることができる。 ・切り離して使用できる自己紹介カードがあるなど、仲間との関わり方を取り上げ、多様な学びを支援する教育の充実を目指している。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判、上巻136ページ、下巻124ページで適度である。紙の質はざらざらな部分があり、若干気になる。 ・UDフォントを使用し、写真やイラストも使われていて見やすいが、写真が大きかったり余白が多かったりするの気になる。 ・巻末には「学習道具箱」が掲載され、学び方、話し合いの仕方、発表の仕方、地図の作り方、乗り物の乗り方、世界の紹介などがある。葉っぱのアートも載っているので児童の目に留まる。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面がA4判になり、児童の心に残る、インパクトのあるダイナミックな表現が工夫されている。それにより、児童の興味・関心を刺激し、活動への意欲や期待を引き出すようにしている。 ・単元が時系列で構成されているのが特徴的である。例えば、栽培では種まきや発芽については春に取り上げ、夏や秋のところで収穫を扱っている。

様式 2

教 科
生 活

種 目
生 活

発 行 者
1 1 学校図書

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の始まりに安全面で注意する点や約束について記されている。見方・考え方については、単元ごとに決められた色で吹き出しに位置づけられており、授業の際に着目する点が見えるようになっている。 ・スタートカリキュラムが9ページあり、学校生活への適応に配慮されている。工夫して数えようなどの吹き出しで、他教科との関連が図られている。 ・気付きの質を高める工夫として、気付きを記録する、表現する方法を例示したり、身近な人々と伝え合う活動を位置付けたりしている。表現方法としては、発見カード、観察日記、手紙、大きな新聞などが示されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・下巻に春夏秋冬のコーナーがあり、各地の祭りが紹介され伝統文化に目を向けるきっかけになっている。ものしりのコーナーで各地の乗り物や野菜の紹介がされている。町探検では、町の人の頑張りを地域の人を招いて伝えることで、地域との関わりを深める活動を示している。 ・上巻ではタブレットなどのイラストは出てこない。下巻では町探検に持っていく道具としてタブレットが登場し、巻末資料ではインターネットで調べる際の注意点が紹介されている。2次元コードは、植物の写真や動物の様子動画などが収録されている。 ・集団遊びを紹介するなど、仲間との関わり方を取り上げ、多様な学びを支援する教育の充実を目指している。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判、上巻136ページ、下巻128ページで適度である。 ・全ての児童に見やすいようにUDフォントを使用し、写真や図の量など適量である。表紙と裏表紙にあらかじめ折り目がついており、折るときにずれない工夫がある。 ・巻末には学び方図鑑が掲載してある。調べ方、話し方、聞き方、考え方、まとめ方、発表の仕方、道具の使い方、安全などがある。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ものしりノート」や「ものしり図かん」のページが単元内の必要な場面があり、児童の活動の補助となっている。学校で取り扱うものの以外の植物や動物、おもちゃ等も掲載されており、自分の身近なものに興味をもち関わっていくきっかけとなるようにしている。 ・発見カードや観察記録などの記入例を数多く紹介したり、身近な人々と伝え合う場を位置付けたりして、児童が気付きの質を高めるよう工夫をしている。

様式 2

教 科
生 活

種 目
生 活

発 行 者
17教育出版

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮した「やくそく」がページ右側の定位置にあり、巻末にも安全や健康のページがある。「わくわくスイッチ」で学習の動機付け、「はっけんロード」「はてな」で自ら活動を組立て、「何をかんじたかな」で自分の成長を自覚することができるように、学習場面ごとに主体的・対話的で深い学びができる工夫がある。 ・スタートカリキュラムが7ページあり、幼児期の体験や学びを下段にイラストで、それを生かして学習している姿を上段に写真で掲載し、スタートカリキュラムの姿が表されている。 ・小単元で引き出したい六つの力を「サイコロ」で示している。単元末の「何をかんじたかな」では、自分の学びを振り返り、書き込むことができる枠が位置づいており、主体的・対話的で深い学びにつながる「ぐんぐんはしご」や「かんがえまとめいろ」もある。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町探検では、内容を深めながら繰り返し位置づけられているので地域への愛着につながる。季節ごとに様々な地域の伝統行事等が掲載されており、地域に目を向けるきっかけとなっている。 ・記録する、調べる、意見交換するなどタブレットの活用例が示されており、巻末にはICTの活用方法や注意事項が掲載してある。2次元コードにある動画や図鑑は有効であるが、学習シートやドリルについては低学年児童が自分で利用するには使いづらい。 ・環境や多様性などの教育課題について、児童一人ひとりが自ら課題を発見し、行動を促す取組がSDGSマークで示されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判、上巻128ページ、下巻128ページで適度である。 ・全ての児童が読み取りやすいUDフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインにも配慮している。また、同項目が同じ位置に位置づいており、児童が活用しやすくなっている。 ・巻末資料「学びのポケット」では、つなげたい教科が明示されている。生活科での学習を他教科に生かしていけるよう、学びの内容が詳しく掲載されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がめあてをもって学習に取り組めるよう、小単元名の前に「サイコロ」で引き出したい六つの力（気付く、自分でできる、考える、伝える、挑戦する、自信をもつ）を明示している。そのため、児童も教師もどんな力をつけていくのか分かりやすい。 ・気付きを確かにする単元末の振り返りでは、ぐんぐんはしごなど、児童が自ら評価でき、教師は児童の意欲や自信を見取れるように工夫されている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
生 活	生 活	38 光村図書

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「ひろがるせいかつじてん」で、安全に過ごすための約束や道具の使い方が示されている。「みて○ページ」と表示しているため、巻末のどこを見るのか分かりやすい。単元扉、学習活動、まとめの単元構成で見通しをもって学びやすい。単元扉は、問いかけやイラストで活動への思いや願いをもてるようになっている。 ・スタートカリキュラムが14ページあり、学校生活を安心してスタートできるように、学校生活への適応に配慮がされている。他教科とのつながりが写真で分かるようになっている。 ・単元のまとめページでは、イラストや言葉かけ、児童がまとめたものの例があり、表現活動の場が分かりやすく工夫されている。また、日常生活への接続のヒントも提示されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町探検では、年間を通して同じ町の絵が示され、1年を通してどこでどんな人と関わってきたのか、地域の人とのつながりが分かるようになっている。季節ごとに日本全国の伝統行事等が紹介され、地域の伝統文化に目を向けるきっかけとなっている。 ・「健康・道具・安全・近付かない」の4種類の2次元コードがあり、写真や動画の資料を見ることができる。児童が写真を撮ったり通話をしたりするためにICTを活用する写真が多く使われている。 ・学校内で役割をもつ人、地域社会で活躍する人など、児童を見守る様々な立場の人々との関わりが例示されている。下巻では幼児や車椅子の児童との交流の写真が使われており、多様な人々との関わりが示されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判、上巻140ページ、下巻128ページで、やや重い。 ・小単元名、ヒント、振り返りを同じ位置に配置していることで見やすくしている。学習ノートや観察カードなど児童が書いたものは太枠で強調されている。UDフォントを使用している。 ・巻末には取り外して使用できる「ひろがるせいかつじてん」があり、生活上必要な習慣や技能等がまとめられている。上巻には、季節の生き物が写真で紹介されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動ページの見開きごとに振り返りの場が設けられており、「どんな気持ちになったかな」「こんなことはあったかな」と自分自身が振り返り、学びがより確かなものになるように工夫されている。また、単元末には日常生活につなげていくきっかけとなるよう「楽しい毎日につなげよう」のコーナーが位置づいている。 ・教室など、児童を取り巻く学習環境を写真で提示しており、児童が活動のイメージを捉えやすい。教師の授業作りの参考にもなる。

様式 2

教 科
生 活

種 目
生 活

発行者
61 啓林館

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な生き物に対する注意や道具の使い方など安全への配慮がされている。振り返りのページには「できるかな できたかな？」のコーナーが掲載され、児童が学習を振り返り、学びの深まりや自分の成長を実感できるように工夫されている。 ・上巻冒頭に「すたあとぶっく」13 ページを設定し、幼児期の終わりまでに育ててほしい姿を踏まえた幼児期の写真が掲載され、児童が自信や意欲、安心感を高めて小学校生活を始められるように配慮されている。 ・学びのキーワードとして、見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの気付いたことを基に考えるための多様な学習活動を例示し、児童が気付きの質を高められるように配慮されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な遊びや、それぞれの季節のいろいろな地域の祭りの様子が写真で掲載され、日本の伝統文化に愛着をもてるように配慮されている。 ・写真や動画で伝え合う様子、写真で比較する様子、撮影した写真に文字を入れる様子、インターネットで調べる様子など、低学年の発達段階に配慮しながら ICT の活用を具体的に例示している。 ・協働的な学びを促す教室環境の一例として、児童の気付きを可視化、共有するための ICT 活用や板書、学習場面に応じた机のレイアウトなどをイラストで表現し、授業作りのヒントが具体的に示されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判、上巻 146 ページ、下巻 136 ページで適度である。 ・小単元名やヒント、安全指導など、同じ位置に配置していることで読みやすくしている。UDフォントの使用、紙面の内容が判別しやすい配置・デザインが用いられ見やすい。 ・巻末資料「がくしゅうずかん」で、生活科の学習や生活する上で必要な習慣や技能をまとめたものが掲載されている。下巻の「3年生へのステップブック」は、生活科の学習が3年生の学習につながるよう、保護者へのメッセージとともに設けられている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや願いをもつ「わくわく」、活動や体験をする「いきいき」、伝え合う・振り返る「ぐんぐん」の3段階構成により、学びの深まりが分かりやすく示されている。 ・ダイナミックで躍動感ある写真で、「不思議」「すごい」「何だろう」と児童の心を揺さぶり、より豊かな学習活動が実現できるように工夫されている。

様式 2

教 科
音 楽

種 目
音 楽

発行者
17 教育出版

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まなびナビ」では、学習の中心となる音楽を形づくっている要素をもとに、思考・判断を促し、試行錯誤しながら音楽のよさや美しさを感じ取って思いや意図を生かした演奏のための技能の習得、鑑賞における音楽のよさや美しさを聴き取ることができるよう配慮がされている。さらに、「学習マップ」に年間の学習内容（題材ごと）や学習の進め方（3年以上）が示され、見通しをもって主体的に取り組めるよう位置付けられている。 ・音楽を形づくっている要素を核として、表現及び鑑賞の教材を組み合わせることで題材を構成し、音楽のよさや美しさを感じ取り、思考、判断したり、学んだことを活用できるように教材を配列したりして、系統的・発展的に学ぶことができるよう配慮されている。 ・見開きに学習のめあて、「音楽のもと」（音楽を形づくっている要素）、「まなびナビ」が示され、児童が自らの学びの中で新たな気づきや音楽のよさや美しさを発見しながら学習できるように配慮されている。さらに「学び合う音楽」の位置付けは、児童が協働して学ぶことができるように配慮されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わらべうた、民謡、地域に伝わる伝統芸能及び代表的な和楽器（箏、篠笛、尺八、締め太鼓、長胴太鼓、三線）について、鑑賞したり実際に演奏したりして、我が国や郷土の音楽に親しむことができるように配慮されている。本県の民謡が掲載されている。5年41頁「郡上八幡踊り」。 ・ICTを活用した学習が工夫されており、二次元コードを読み取ることで、楽器の奏法の解説、音源、ワークシート、解説資料など、「個別最適な学び」をサポートできるよう用意されている。 ・手話や英語の歌が掲載されている。また、諸外国や地域の多様な曲種を掲載し、鑑賞や表現を通して特徴やよさに気付く学習が位置付けられている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の大きさは全学年、同じ大きさ（AB版）であり、学年が上がるにつれて、重量、ページ数がともに増えるようになっており、児童の発達の段階に合わせた配慮がなされている。 ・UDフォントの使用や、色覚等の特性を踏まえた配色やレイアウトの配慮がなされている。 ・巻末には、リコーダーの運指表、楽典資料が記載されている。また、発達の段階に合わせて音楽を形づくっている要素（「音楽のもと」）の説明や音楽を表すいろいろな言葉の例が掲載されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として示し、教材や音楽活動に関連するものを見開きごとに明記して、児童がその働きを意識しながら学ぶことができるように配慮されている。また、3年生以降は、自ら気付いた要素等を書き込む「メモ欄」が位置付けられ、自ら学習が深められるよう配慮されている。 ・歌唱共通教材については、歌詞から連想される季節感や情緒を重視した扱いができるように、美しい写真等が折り込み3ページわたって掲載され、情景を豊かに思い浮かべながら歌唱表現できるよう工夫されている。

様式 2

教 科
音 楽

種 目
音 楽

発行者
27 教育芸術社

調 査 項 目	意 見 書
1 学習指導要領(平成29年告示)にかかわること ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	<ul style="list-style-type: none"> ・思考・判断を促すための作品例やワークシート、キャラクターの吹き出しが示され、児童が音楽を形づくっている要素を核として、表現への思いや意図を持ちながらそれを表現するための演奏技能を習得したり、音楽のよさや美しさを味わいながら聴き取ったりすることができるようによく配慮されている。さらに、「学習マップ」には年間の学習(領域・分野ごと)が題材ごとに示され、題材ごとに「ねらい」や次の学びを促す「振り返り」が示されているなど、児童が見通しを持って主体的に学習できるように位置付けられている。 ・音楽を形づくっている要素を核として、表現及び鑑賞の教材を組み合わせ、題材を構成し、音楽のよさや美しさを感じ取り、思考、判断したり、学んだことを関連付けながら学ぶことができるように教材を配列したりして、系統的・発展的に学ぶことができるようによく配慮されている。 ・見開きに「学習目標」と「学習のまとめ」が位置付き、児童が学習活動のゴール描きながら、学習活動の流れを示した「活動文」によって音楽のよさや美しさを発見しながら見通しを持って学習に取り組めるようよく配慮されている。対話的な学びとなるようキャラクターの吹き出しによる発言例などを具体的に示し、協働的な学びになるようによく配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・わらべうた、民謡、地域に伝わる伝統芸能及び代表的な和楽器(箏、篠笛、尺八、締め太鼓、長胴太鼓、三線)について、鑑賞したり実際に演奏したりして、我が国や郷土の音楽に親しむことができるよう十分に配慮されている。また、全学年の裏表紙に地域の文化や芸能が紹介されている。さざれ石の解説に本県の写真が掲載されている。3年87頁 ・ICTを活用した学習が充実しており、二次元コードを読み取ることで楽曲の音源、音楽づくりの教材、楽器を紹介する動画、図形楽譜の再生など、「個別最適な学び」を十分にサポートできるよう用意されている。 ・手話や英語の歌が掲載されている。また、諸外国や地域の多様な曲種を掲載し、鑑賞や表現を通して特徴やよさに気付く学習が位置付けられている。
3 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の大きさは全学年、同じ大きさ(AB版)であり、1~2学年で同じ重量、同じページ数、3学年~6学年で同じ重量、同じページ数となっており、児童の発達の段階に合わせた配慮がなされている。 ・UDフォントの使用や、色覚等の特性を踏まえた配色やレイアウトの配慮がなされている。 ・巻末には、リコーダーの運指表、楽典資料が記載されている。振り返りのページは、学習したことを音楽を形づくっている要素別に整理して記載されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を通して、音楽を形づくっている要素について、児童自らが気付きそれを生かし表現や鑑賞の学習が進められるように、題材が系統的・発展的に構成されており、示された学習のねらいは児童にとって分かりやすく、音楽と豊かにかかわりながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が実現できるように十分に配慮されている。 ・ICTを活用した学習を充実するために、多くの二次元コードが位置付けられ、タブレットで読み取ることで、歌唱、器楽教材の音源、音楽づくりや鑑賞の学習をサポートするコンテンツに簡単にアクセスし、「個別最適な学び」を充実するようよく配慮されている。

様式 2

教科
図画工作

種目
図画工作

発行者
9 開隆堂

調査項目	意見書																																																								
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力の3つの柱に基づいて、学習のめあてを3項目で設定し、特に大切にしたいめあてを朱書きし下線で示している。 ・どの領域もバランスよく取り扱っており、独立した鑑賞題材を1題材位置付けている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1・2上</th> <th>1・2下</th> <th>3・4上</th> <th>3・4下</th> <th>5・6上</th> <th>5・6下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造形遊び</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>絵を表す</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>立体を表す</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>工作を表す</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>鑑賞(単独)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>129</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、児童が学習を深められるよう学習者の思いや工夫を吹き出しで示したり、めあてを達成するヒントをキャラクターが示したりして、製作について考えたり感じ取ったりすることができる活動の場면을掲載している。 	学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計	造形遊び	4	4	3	3	2	2	18	絵を表す	7	7	7	7	7	7	42	立体を表す	4	3	3	3	3	3	19	工作を表す	7	8	8	8	7	6	44	鑑賞(単独)	1	1	1	1	1	1	6	合計	23	23	22	22	20	19	129
学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計																																																		
造形遊び	4	4	3	3	2	2	18																																																		
絵を表す	7	7	7	7	7	7	42																																																		
立体を表す	4	3	3	3	3	3	19																																																		
工作を表す	7	8	8	8	7	6	44																																																		
鑑賞(単独)	1	1	1	1	1	1	6																																																		
合計	23	23	22	22	20	19	129																																																		
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県の特徴的な題材である粘土と版画の題材について、以下の量を系統的・発展的に取り上げている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1・2上</th> <th>1・2下</th> <th>3・4上</th> <th>3・4下</th> <th>5・6上</th> <th>5・6下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>版表現</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>土・粘土</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用について、主体的な学習ができるよう二次元コードを掲載し、用具の使い方や技法、動画、参考作品等を見ることができる。 ・5・6上(p48)では、二次元コードからクレイアニメーションで作成した作品を視聴することができる。 ・多様な学びの支援について、外国の児童の作品や「つながる造形」「みんなのギャラリー」を掲載し、「場」や「人」とのつながりや広がりを紹介している。 	学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計	版表現	2	1	1	1	1	1	7	土・粘土	4	4	4	4	5	3	24																																
学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計																																																		
版表現	2	1	1	1	1	1	7																																																		
土・粘土	4	4	4	4	5	3	24																																																		
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の総ページと重量は次のとおり <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1・2上</th> <th>1・2下</th> <th>3・4上</th> <th>3・4下</th> <th>5・6上</th> <th>5・6下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>249</td> <td>249</td> <td>248</td> <td>248</td> <td>248</td> <td>261</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを採用し、作品の忠実な再現が図られる印刷をしている。 ・巻末には、材料や用具の使い方などの知識や理解に関わって、写真やイラストを使って分かりやすく示してある。 ・目次頁について、見開きになっており、目次頁を開いたまま使用できるよう工夫されている。左に大切にしたいめあてを示すキャラクターと題材名、右に領域のマークがあり、必要な情報を分かりやすく示してある。 	学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	総ページ数	65	65	65	65	65	69	重量(g)	249	249	248	248	248	261																																			
学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下																																																			
総ページ数	65	65	65	65	65	69																																																			
重量(g)	249	249	248	248	248	261																																																			
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が関心をもつ題材を取り上げ、すべての題材で資質・能力の3つの柱に基づいた目標をキャラクターを使って示し、活動のヒントや視点を掲載し、児童も教師も明確に分かるように配慮されている。 ・すべての題材において、QRコードを掲載し、作り方や作品例などの資料や動画はもちろん、振り返りや鑑賞カードがリンクされ、授業で活用しやすい工夫がされている。 																																																								

様式 2

教 科
図画工作

種 目
図画工作

発行者
116 日本文教出版

調 査 項 目	意 見 書																																																								
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<p>・資質・能力の3つの柱に基づいて、学習のめあてを5項目に細分化して設定し、児童は振り返りを教師は評価をしやすくなっている。</p> <p>・どの領域もバランスよく取り扱っており、独立した鑑賞題材を複数位置付けている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1・2上</th> <th>1・2下</th> <th>3・4上</th> <th>3・4下</th> <th>5・6上</th> <th>5・6下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造形遊び</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>絵に表す</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>立体に表す</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>工作に表す</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>鑑賞(単独)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>128</td> </tr> </tbody> </table> <p>・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、児童が十分に学習を深められるよう学習者の思いや工夫を吹き出しで示したり、学習のめあてを達成する視点や複数の素材や技法、多様な表現作品を適切に掲載したりしている。</p>	学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計	造形遊び	5	4	3	3	2	2	19	絵に表す	7	7	7	6	6	7	40	立体に表す	3	4	4	3	5	3	22	工作に表す	6	5	5	5	5	5	31	鑑賞(単独)	3	3	3	3	2	2	16	合計	24	23	22	20	20	19	128
学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計																																																		
造形遊び	5	4	3	3	2	2	19																																																		
絵に表す	7	7	7	6	6	7	40																																																		
立体に表す	3	4	4	3	5	3	22																																																		
工作に表す	6	5	5	5	5	5	31																																																		
鑑賞(単独)	3	3	3	3	2	2	16																																																		
合計	24	23	22	20	20	19	128																																																		
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<p>・岐阜県の特徴的な題材である粘土と版画の題材について、以下の量を系統的・発展的に取り上げている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1・2上</th> <th>1・2下</th> <th>3・4上</th> <th>3・4下</th> <th>5・6上</th> <th>5・6下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>版表現</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>土・粘土</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>・美濃和紙（水うちわ）（5・6年下 p59）や岐阜県ゆかりの作家作品（実の音）（1・2年下 p44）を掲載している。</p> <p>・ICTの活用について、主体的な学習ができるよう二次元コードを掲載し、用具の使い方や技法、動画、参考作品等を見ることが出来る。</p> <p>・5・6上(p12)では、二次元コードからアニメーションをつくるアプリを起動し、製作・保存することができる。</p> <p>・多様な学びの支援について、多様な表現方法によって製作された児童作品や外国の児童の作品、「図画工作をもっと楽しむためのページ」「ずこうのみかた」を掲載し、「場」や「人」とのつながりや広がりをも十分に紹介している。</p>	学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計	版表現	2	1	1	1	1	1	7	土・粘土	3	3	3	1	1	4	15																																
学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計																																																		
版表現	2	1	1	1	1	1	7																																																		
土・粘土	3	3	3	1	1	4	15																																																		
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<p>・教科書の総ページと重量は次のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1・2上</th> <th>1・2下</th> <th>3・4上</th> <th>3・4下</th> <th>5・6上</th> <th>5・6下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td>68</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>68</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>246</td> <td>233</td> <td>234</td> <td>232</td> <td>243</td> <td>244</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ユニバーサルデザインフォントを採用し、作品の忠実な再現が図られる印刷をしている。</p> <p>・巻末には、材料や用具の使い方などの知識や技能について、写真やイラストを使って適切に分かりやすく示してある。</p> <p>・目次頁には、左に題材名、右に領域のマークがあり、必要な情報を分かりやすく示してある。</p>	学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	総ページ数	68	64	64	64	68	68	重量(g)	246	233	234	232	243	244																																			
学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下																																																			
総ページ数	68	64	64	64	68	68																																																			
重量(g)	246	233	234	232	243	244																																																			
<p>4 総評</p>	<p>・資質能力の3つの柱に対応して、目標を細分化し児童の活動の視点となるように、また、教師が授業を組み立て評価するまでの視点となるようによく配慮されている。</p> <p>・表現活動・鑑賞の視点、それらに関連する〔共通事項〕を意識することができるような図版やコメントが掲載され、領域ごとの系統性や発展性を大切にした題材を設定することで、図工を広く深く理解することができるよう、よく配慮されている。</p> <p>・タブレット端末を使って利用できる資料（QRコード）が充実している。教科書に掲載されている写真だけではなく、児童自らが必要に応じて、多くの資料を見たり、動画で製作方法を確認したりすることができ、個に応じた学習ができるよう、よく配慮されている。</p>																																																								

様式 2

教 科
家庭

種 目
家庭

発 行 者
2 東京書籍

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の始めに、「家庭科の窓」として見方・考え方を設定している。3ステップで、課題発見、計画・実践、評価・次の課題へとつなげる問題解決学習の道筋を繰り返し行い、実践的・体験的な学習を進めることができる構成となっている。 ・巻頭に「成長の記録」ページを設定し、題材ごとに学びを実感しながら学び進めることができる。平易なものからより難しい内容へと段階的に学習できる配列となっている。 ・題材ごとの「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」のステップで、「深めよう」のコーナーを設定し、主体的・対話的な深い学びに向けた学習を設定している。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統に関わる内容に「日本の伝統」として伝統的な食事を中心に示している。 ・右ページ上に2次元コードを掲載し、製作や調理方法などの動画や学習内容を補充する資料、学習に活用できるワークシート等をどの児童も簡単に活用できる。また、調理や製作に関わる動画は、右利きと左利きの両方を見ることができ、動画コンテンツが豊富である。 ・生活の課題を自分で設定する「生活の課題と実践」は、長期休みや学年末に「生活を変えるチャンス！」として設定し、課題設定から計画や実践、振り返りと、学習の中で積み重ねてきた学びと同様のステップの実践例が示され、活用できるよう配慮されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の重量やページ数は、持ちやすく適切な分量である。 ・巻末には、大判の手をのせてイメージできる実物大の鮮明な写真やデザイン等を豊富に掲載している。また、ユニバーサルデザインに配慮したフォントを用い、誰にとっても読みやすい配慮がされている。 ・巻頭に、いつでも確認できる安全にかかわる特集ページが掲載されている。また、「安全」マークや「日々の備え」コーナーとして気を付けるべき内容について、学習過程の中で示されている。 ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得のために繰り返し見たり確認したりできる実物大の写真や動画コンテンツ等、学習を進める工夫が豊富にあり、主体的に学びを進められるよう配慮している。
<p>4 総評</p>	<p>小題材の始めに、「家庭科の窓」として見方・考え方を設定している。3ステップで、課題発見や計画・実践、評価・次の課題へとつなげる問題解決学習の道筋を繰り返し行い、実践的・体験的な学習を進めることができる構成となっている。基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得のために繰り返し見たり確認したりできる実物大の写真や動画コンテンツ等、学習を進める工夫が豊富にあり、主体的に学びを進められるよう配慮している。</p>

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
家庭	家庭	9 開隆堂

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小題材ごとに、「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」で問題解決的な学習で構成されている。また、生活における見方・考え方の4つの視点を示し、育成を目指す資質・能力の3つの柱をバランスよく育成することができるよう十分に工夫されている。 ・各学年で貫く課題を設定し、小題材ごとに、平易なものからより難しい内容へとスモールステップで学ぶことができるよう構成・配列されている。実践的・体験的な活動を通して、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる適切な配列となっている。 ・小題材ごとに学びを生かした「生かす・深める」コーナーを設定し、学びを深める場面として主体的・対話的な交流場面を多く示している。吹き出しを学び方のヒントとして与えるなど、主体的・対話的な学びができるよう工夫されている。最後には、「ふり返ろう・生かそう」を設定し、家庭実践につながるよう適切に構成されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活や食生活、住生活に関わる小題材の後に、「伝統」マークを用い学習内容とかかわりのある日本の伝統的な文化について取り上げている。その内容は幅広く、分量は、児童の興味・関心を十分に満たすものである。 ・右ページ上に2次元コードを掲載し、製作や調理方法などの動画や学習内容を補充する資料、話し合いや考えたことを記録できるワークシート等を見ることができ、どの児童も簡単に活用できる。 ・食生活や衣生活の題材では、身に付けた知識・技能を活用して簡単に家庭実践できる例が豊富に掲載されている。生活の課題を自分で設定する「生活の課題と実践」では、課題を決めて、課題設定から、計画や実践、振り返りと学習の中で積み重ねてきた学びと同様のステップの実践例が、1実践1ページで分かりやすく丁寧に掲載されている。実践例が児童にとって身近な家族から、学校の仲間や地域へと広がるように配列の工夫がされており、家庭実践に取り組みやすい。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の重量やページ数は、持ちやすく適切な分量である。 ・調理や製作の実習に関わるページは、見開き2ページで示されている。2ページにすべての情報があることで、どの児童にとってもイラストや写真等、ポイントや手順が見やすく、活用しやすいものとなっている。また、記載されている文章は、1つの文や単語が途中で途切れることがないように、文字間を調整した表記がされるなど十分に配慮がされている。 ・「安全」「防災」マークを用い、気を付ける点や理由、対処法などについて学習過程の中で適切に、丁寧に掲載されている。巻末には、「安全」「防災」に関わるページを設定し、まとめられている。
<p>4 総評</p>	<p>小題材ごとに、生活の営みに係る「生活の見方・考え方」を視点として、3段階の問題解決学習が展開され、育成すべき資質・能力の3つの柱をバランスよく身に付けるための構成・配列がされている。実践的・体験的な活動を進めながら2次元コードやイラスト、図等を活用しながら個別最適な学びを進め、知識・技能を確実に身に付けることができる。さらに主体的・対話的な深い学びを生み出し、家庭実践につながるよう適切に配慮されている。</p> <p>教科書全体に、多文化共生の必要性や持続可能な社会の構築に向けた意識を獲得するための配慮がいたるところで見られる。</p>